

## 活動テーマ

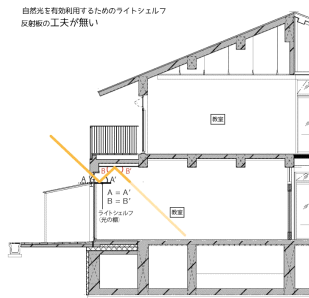
### 守山や滋賀の環境を愛し、守れる人となろう

～次代に引きつがれていく環境学習の礎をつくろう。～

守山市立守山中学校の新校舎は、平成28年秋、「風や光などの自然のエネルギーを最大限利用することによって、消費エネルギー0を目指すエコスクール校舎」として、完成する。今後、守山中学校の生徒たちは、この校舎で学ぶことを通して、持続可能な循環型社会を構築する創造的な人間に成長していくことを目指していきたい。平成27年度はその準備の1年として、今までの総合学習の取組を中心として、教科での環境学習、生徒会活動等を絡ませながら、環境教育のカリキュラムづくりを進めてきた。

#### 1 教科の授業において

- (1) 環境を配慮した校舎の工夫を、理科、社会科、技術家庭科の教科の内容に合わせて、理論的に説明する。
- (2) 授業の中の5分程度で説明できるように、模造紙サイズの資料や電子黒板等で提示できるデータを準備する。



(例：ライトシェルフの模式図)

#### 2 総合的な学習の時間において

- (1) 1年生「身近な環境に親しもう」

##### ア 目的

守山市内の自然に親しみ、環境に対する興味関心をもって理解を深める。

##### イ 概要

- ① 市内の6つの企業（旭化成、ハウスセレクトクシオン守山）や施設（環境センター、びわこ豊穰の郷、びわこ地球市民の森、美崎自然公園）を訪問する。

- ② 訪問先では、調査・体験活動等を通して、守山市の自然環境や企業での取組等を調査する。



(ハウスセレクトクシオン守山にて)

- ③ 訪問後は班で協力してまとめ、学級発表会で交流する。各クラスでわかりやすくまとめられた班を1つ選出、学年発表会で発表する。

##### ウ 成果

生徒たちは、興味をもって生き生きと調査活動に参加し、その結果をまとめ、発表することができた。

##### エ 課題

訪問施設が学校から遠いところが多く、自転車での移動が大変であった。

- (2) 2年生「琵琶湖の自然に親しもう」

##### ア 目的

身近な環境への興味関心を高めるとともに、琵琶湖の生物に関する基本的な知識や環境調査の方法について学ぶ。



##### イ 概要

- ① 琵琶湖畔（オーパル・オペテックス）での体験、実習を行った。
- ② 実習後、学んだことを個人レポートにまとめた。

##### ウ 成果

ドラゴンボートやカヌーによるヨシ帯体験を通して、琵琶湖を身近に感じることができた。実際に採取したプランクトンについて専門的なことを学び、学習を深めることができた。

ドラゴンボートやカヌーはクラスで力を合わせて取り組む体験であり、4月の学級づくりの時期の行事としても有効であった。

#### エ 課題

移動のためのバス代や実習費など個人負担の経費が多額となった。

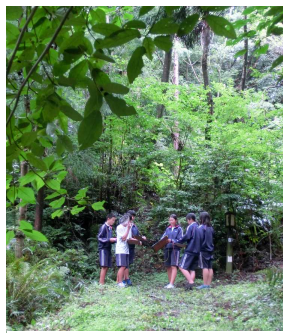
### (3) 3年生「滋賀県の自然に親しもう」

#### ア 目的

仲間と協力して行動することで、実践力や行動力を高める。

#### イ 概要

- ① グループごとにテーマを設定し、滋賀県内の環境問題を取り上げている施設から1つの施設を選択する。



(栗東自然観察の森にて)

- ② 自分たちの力で交通機関の活用などの計画を立て、調査する。
- ③ 調査でわかったこと、考えたことを個人新聞にまとめる
- ④ 各班でまとめたことを学級で発表する。

#### ウ 成果

生徒たちが自分たちで計画を立て、協力して施設訪問や体験を行うことができた。

#### エ 課題

調査、訪問のねらいをさらにしっかりと押さえた上で、計画を立てる必要がある。

### 3 生徒会活動（環境委員会の活動）において

#### (1) 室温調べ

##### ア 目的

鉄筋校舎である旧校舎とプレハブ校舎を比較して、よりよい学習環境を探る。

##### イ 概要

- ① 毎週水曜日、クラス環境委員が教室内、廊下に分かれ気温、湿度を測定する。
- ② 校舎の材質や階、冷暖房の使用の有無によって、気温と湿度にどのような違いが見られるか、比較する。

##### ウ 成果・課題 現在調査中

#### (2) ペットボトルキャップの回収

##### ア 目的

地球の環境を守るために、守中生が具体的に行動できることを見つけ、行動に移す。

##### イ 概要

- ① ゴミゼロの日の取組（5/18）で私たちの身近な生活の中での環境問題を知る。（全校、総合）

- ② ごみ問題解決のために守山中学校生としてできることをクラスで話し合う。
- ③ クラスで決めたことを環境委員会でさらに話し合い、ペットボトルキャップを回収することに決定。

- ④ 美術部クラフト部が共同で集まったペットボトルでリサイクルの啓発のためにアートを作成した。



#### ウ 成果

自分たちで何ができるか話し合い、全校で1つの課題に取り組めた。

#### エ 課題

取組の決定過程がクラス→全校→クラスという流れになり、決定に深く関与したクラスとそうでないクラスとによって、取組姿勢に差が出た。

### 5 研究の成果

- ① 環境に配慮した校舎の工夫を、教科の年間計画と関連させて位置づけることができた。
- ② 総合的な学習の時間に、守山市内の環境を学ぶことから滋賀県全体の環境学習へと発展させる流れを作り出すことができた。
- ③ 環境委員会の活動の中に、自分たちの生活環境やゴミ問題を考える取組を取り入れることができた。

### 6 今後の課題

- ① 環境委員会の活動を、生徒会全体の活動に広げていく。（守山中学校環境宣言の作成や入学説明会等での生徒会からの発信等）
- ② 来年度の校舎完成に向けて、校舎を使った授業の実施。（光の授業、風の授業、熱の授業）
- ③ 2年次の環境学習で学んできた中で、興味深かったことを中心に取り上げ、3年次では探求活動を実践し、保護者や地域社会に向けて発信できる力をつけたい。

学校名	守山市立守山中学校
住所	守山市石田町350
電話番号	077-585-0321
E-mail	morichu@usenet.ne.jp